

～未来へ向かって～

South Dream2 『映画をつくろう!』

日時： 令和5年10月10日（火） 3、4時間目

場所： 袋井南中学校体育館

講師： 映画監督/脚本家 池田 千尋様

北海道生まれ、静岡県出身 高校在学時から自主映画制作を始める。

主な劇場公開作品最新作『君は放課後インソムニア』出演：森七菜（2023年）

演題： 『意志を持って生きる』



Q：『映画』はどのように作られているのか？

A：プロデューサー、脚本家、スタッフなど多くの人とチームで作る。監督は常に「どうしたい？」と問われ続けられる立場であるため、責任があり、判断していく力が大切！自分の意志で決めることが重要！

Q：映画を作ることになった経緯は？

A：映画で「人はどう生きるべきか？」を知った。映画の種類、人生の面積を広げることができた。やりたいことをやるためには、辛いこと・苦しいことを頑張ることが必要！今、できることに挑戦する！

今回の講話では、自分の道を自分で決めることの大切さや、分からないことでもとりにあらず体験、挑戦することの大切さなどについて学ぶことができました。僕は今まで新しいことに挑戦してきませんでしたが、やってみると将来の夢が決まったりすることがあると知りました。挑戦を怖がらないようにすることを教えていただきました。

僕はまだはっきりとした将来の夢が決まっていません。だからこそ、この講話を通して教えていただいたことを参考にしていきたいです。これからは自分のことはしっかり自分で決めて、後悔のない人生にしていきたいと思えます。



自分のなりたいものになるためには、自分の中に太く、強い軸を持ち続けることが鍵になることが分かりました。私自身、自分に甘いところがあると感じることが多いので、今やっていることはこれからの自分に必ず役に立つ、と信じて今よりも自分に厳しく頑張っていきたいです。

私は介護の仕事に興味を持っているので、自分が介護士になるためにはどうしたら良いか、そのルートを自分の力で見付けていきたいと思えます。

話し方がとても上手でした。言い回しが分かりやすく、でも独特の感じが出ていて、とても学ぶことができました。映画を作るだけではなく、人生を歩んでいるということは人と関わらざるを得ないと分かり、そのためにうまくコミュニケーションをしていかなければならないことをあらためて知りました。

意志を持つということは、何か好きなもの、ことを見付けることなのだと思います。何かを愛せば、そのための人生ができるのでまずは何かを探すことから始めたいと思えます。心は曲がっていても折れない心を作っていきたいです。

普段あまり話を聞くことができない映画監督さんのお話を聞いて、私たちが見ている気にしないような細かい仕組みを知ることができました。また、責任感も強く、大変な仕事だと感じました。千尋さんは、人生を映画で救われたことをきっかけに映画監督になったと知りました。自分の進路を決める時や、人生の分岐点に立った時は、とにかく自分の意志を大切にすべきだと分かりました。

自分の両親が自分の人生を決めるのではなく、自分の人生は「自分」で決めることが大事であることが一番印象的でした。自分がやりたいと思ったことに一生懸命取り組むことが一番楽しめると思えます。誰かと一緒だからと挑戦するのはなく、自分が挑戦したいと思えば、行動に移していきたいと思います。

進路選択を間近に控えている私たちにとってメッセージ性のあるお話でした。これから、長い人生を生きていくために「積極性を持つこと」、「リーダーシップが必要であること」、何より「志を強く持つこと」の大切さが分かりました。映画やドラマを見るとき楽しみ方も参考になりました。 *代表挨拶 中村友音さん*

